

米国企業に学ぶ点数化しない評価「No Rating」を学ぶ ～大転換期を迎える病院と個人の関係性～

日時: 2017年3月15日(水) 18:30～20:00 定員: 30名 参加費: 2,000円
場所: JR京都駅前 キャンパスプラザ京都 5階 第4演習室

講師: 福留 幸輔 氏 (生きがいラボ株式会社代表取締役・社会保険労務士)

医療をめぐる環境がめまぐるしく変化する昨今、第三者評価機関による病院評価や、医療を受ける側による選別のように、病院も選ばれる時代となりました。歯止めが利かない医療費の増大を抑制しようとする医療制度改革によって、医業経営は大きく左右され、常に収支のバランスを見定めながら運営方針の見直しを求められています。医業費用の50%以上は人件費で占められています。近年の診療報酬改定の流れから推測するに、今後の医業経営においては、これまでのような年功序列型の給与体系の継続は必然的に収益の悪化につながります。このような状況の中、多くの業界において実施されている成果主義の給与体系と同様に、人事評価制度を導入する医療機関が増えてきました。民間のシンクタンクである株式会社産労総合研究所の調査によると、約76%の病院で人事考課制度を導入し、そのうちの約75%が賃金制度と連動しているという結果がでています。

しかし、職種間連携によってチームとして医療価値を創造していく医療機関においては、成果主義で業績や職能に力点を置く評価指標を設定することは、被評価者のモチベーションの低下や連携の悪化を招き、医療サービスの質や患者に対してネガティブな影響を及ぼす等、一般の評価制度と同一化できない様々な課題をうんでいます。

こういった人事評価に関する課題について、今回は社会保険労務士として人事制度構築のコンサルティングを広く実施されている生きがいラボ株式会社の福留幸輔氏を講師にお招きし、過剰に複雑化している人事制度をシンプルかつ効果的にする方法や福留氏の人事制度の特徴である「評価と給与の分離」、および近年米国企業で導入が進んでいる「No Rating」(職員の格付け・点数付けを廃止した人事制度)に関する話題提供をいただきます。人事評価に関するそれぞれの病院の現状、評価制度が職員や医療経営にもたらす影響、効果的な評価制度等について、ワーキング形式で共有し、評価に対する新しい視点の導入になればと考えています。

■申し込み方法 当該用紙をFAXもしくは下記ホームページからお願いします。締切:2017年3月13日(月)

申込ホームページ <http://byouinkeiei.jp>

■日時 2017年3月15日(水)18:30～20:00 定員:30名 参加費:2,000円(学生無料)

■会場 JR京都駅前 キャンパスプラザ京都 5階 第4演習室

■対象 医療福祉関係の皆様(医療従事者、介護福祉従事者、大学生など、経営に携わらない方でも参加可能)

FAX 送信先:075-432-7398 (※個人情報とは病院経営研究会に関する案内のみに利用致します。)

氏名(フリガナ)		
メールアドレス(必須)		
勤務先/職種	勤務先:	職種:
名簿記載について	<input type="checkbox"/> 載せても構わない <input type="checkbox"/> 載せないでほしい 【お名前・所属・職種】を載せた名簿を配布いたします	
懇親会の参加	<input type="checkbox"/> 参加する <input type="checkbox"/> 参加しない (別途:約3,000円です)	

問合わせ先 病院経営研究会事務局(担当:清土) TEL:075-432-7397 / FAX:075-432-7398